

市交際費の支出状況

令和2年3月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	0	0
	累計	48	178,500
見舞い	今月分	2	20,000
	累計	7	78,067
御祝	今月分	0	0
	累計	36	197,850
賛助	今月分	0	0
	累計	2	9,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	9	39,154
	累計	37	198,321
会費	今月分	0	0
	累計	38	134,000
その他	今月分	1	3,700
	累計	3	10,900
合計	今月分	12	62,854
	累計	171	806,638

※くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係  
☎75-2115

市長コラム

「語り合いましたよ」

同和問題

北多久町のAさんから、テレビで同和問題（部落差別）を取り上げた番組が放送されていると教えてもらいました。テレビやラジオ、新聞といったマスメディアで同和問題を取り上げられることが少ないので、その情報はとてもありがたいものでした。番組は、2週間に分けて30分ずつで放送されました。被差別の歴史をもつ、アフリカ系アメリカ人たちが、国籍も肌の色も同じなのに、なぜ日本にこうした差別があるのだろうと同和問題に興味を持ち、地域を訪ね、そこに暮らす人たちの思いに触れ、いろ

tomoni ikiru

いろな立場の若者たちと同和問題を語り合うという内容でした。「同和問題が今でもあるのか、一部の人の問題ではないか」、「昔はあったみたいだけど、今ではあまり聞かない」、「触れてはいけない問題」などと、どちらかといえばタブー視されてきたこの問題が、番組で放送されたことで、私たちの身近な問題として受け止めることができたのではないのでしょうか。同和問題は、目に見えない、人の心にふれる問題です。番組のように、お互いに自由に意見を出し合い、語り合うことも問題解決の一助になります。多久市では、みなさんの地域で「同和問題を考える地区座談会」を行っています。一緒に語り合みましょう。社会教育指導員 野中久美子

Message for citizen



市長コラム



4月22日に県内18例目の感染者が市内で確認されました。目下のところ、佐賀県で濃厚接触者などの詳細調査中です。市民の皆様には感染予防のため3密（密閉・密集・密接）を避ける、手洗い・うがい・咳エチケットなど徹底してください。感染者も感染しようとして感染された訳ではないので、個人特定や誹謗中傷なきよう落ち着いた対応が肝心です。他所では感染者の家族が差別的対応を受け、心も痛める例もありますので、「怒の心」を重んじる

多久市では、そのようなことがないよう、人権にも配慮した適切な行動をお願いします。感染症に関する誤った知識や不確かな情報で、感染者や治療にあたる医療関係者とその家族、感染拡大地域からの帰省者や外国人に不当な差別偏見、いじめ等がないよう、正確な情報による冷静な行動をお願いします。

市内感染者発生と緊急事態宣言

市長 横尾俊彦

4月22日 12時記

政府は、新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、4月16日に緊急事態宣言を全都道府県に拡大しました。国民による感染予防徹底が肝心です。ウイルスは人の移動により拡散するので行動自粛は必須です。まさに「ステイホーム（自宅にいる）」が世界の合言葉です。宣言拡大により学校は5月6日まで休校、施設も閉鎖です。皆様にはご不便もおかけしますが、ご理解をお願いします。給付金の早期給付に向けて作業も迅速に進めていきます。経済の落ち込みも懸念され、更なる工夫や対策を図るとともに、国と県にも求めていきます。飲食業も苦難にあるので、「食TAKUプロジェクト」のテイクアウト情報発信で支援中です。ご利用をお願いします。

まずは5月連休で不要不急の外出を控え、ステイホームです。何としても乗り越えましょう。